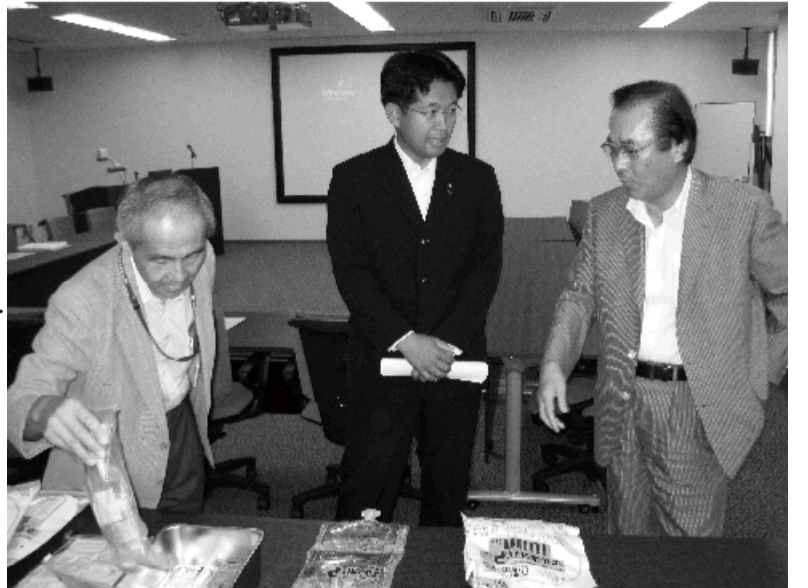


# 医療支える「輸液」守る

## 大塚製薬工場で小松会長と懇談



小松会長(右)から、輸液について説明いただく

仁木博文は8月23日、徳島を代表する企業・大塚グループの起源である大塚製薬工場を視察しました。松茂工場にお招きいただき、小松第一会長からお話をうかがいました。

大塚製薬工場は1921年に創業。点滴の「輸液」生産量で世界3位、品質でも世界トップレベルで、研究を重ねて使いやすく、安全で均質、省資源の製品を送り出しているということです。

しかし、輸液の薬価は低迷し、現在、国内で生産しているのは数社しかなく、国内生産量の45%を大塚製薬工場が担っていると、う



ガラス越しに松茂工場の製造工程を見学

かがいました。

小松会長は「現状では、作れば作るほど赤字になってしまう。撤退を考えている企業もいる。我々の生き延びる道を考えてほしい」と訴えられました。

仁木自身も医師経験から医療現場では輸液が、まるで水道のように欠かせない存在だと実感しています。いのちを守る医療現場を支える輸液が、国内で安定供給されるよう、しっかり現場の声を伝えていきます。



## 河野・石井町長を応援

### 後援会事務所開きに出席

8月26日夜、来年4月の石井町長選挙で再選をめざす河野俊明町長の後援会事務所開きが行われ(写真上)

仁木博文は200人を超える河野町長の支援者の方々に、ごあいさつしました。

仁木は「河野町長は信念

## 那賀町仁宇・北川で国政報告会

仁木博文は8月27日、那賀町の仁宇と、旧木頭村の北川で国政報告会を開き、50人以上の皆さんにご参加いただきました。

集会では、仁木が実現に取り組んだ桑野道路や、治水、医療政策についてご報告。

参加者からは「山間部の国道195号も整備してほしい」「年金のことにも取り組んでほしい」などのご意見をいただきました(写真下)。

山間振興は、雇用や治水、民主党が掲げる環境政策の面からも非常に重要な課題です。仁木は、皆さんの声を今後も国政の場に届けていきます。



が全くブレない人です。民主党ももっと見習わないといけないですね。石井町をもっと住みやすい町にするため2期目もぜひ頑張ってください」と訴えました。



## 「踊る阿呆」に参りました

徳島の夏といえば、阿波おどりですね。仁木博文は、吉野川市鴨島町の鴨島駅前中央通りで開かれた「吉野川阿波おどり大会」最終日の8月16日、毎年踊らせていただいている「ほがらか連」に今年も参加し、大勢の皆様が見守る中「踊る阿呆」になりました。徳島が世界に誇る「阿波おどり」から、ほとぼる熱気とパワーをいただきました。ほがらか連をはじめ吉野川市の皆様、ありがとうございました。



## 桑野の1000人前カレー

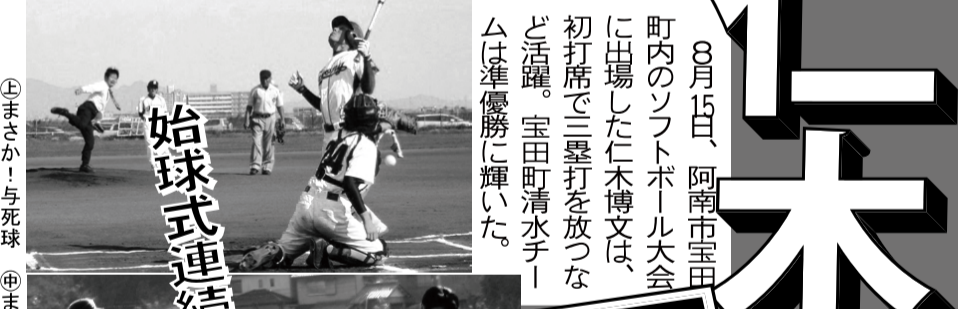
8月22日、阿南市桑野町で開かれた「桑野サマーフェスティバル」にお邪魔し、桑野町、山口町の婦人会の皆さんが猛暑の中で作られた1000人分のカレーをおいしくいただきました。婦人会の皆さん、ごちそうさまでした!!



## フレッセBBQ大会参加

8月29日、建築業の方々の労働組合、フレッセ山川支部の第5回バーベキュー大会で名越映広場を訪れました。落選中から、ずっとご招待いただき、応援いただいているフレッセ山川支部の皆様、本当にありがとうございます。

## 仁木 三塁打



8月15日、阿南市宝田町のソフトボール大会に出場した仁木博文は、初打席で三塁打を放つなど活躍。宝田町清水チームは準優勝に輝いた。

痛恨の2球だった。新米議員だった去年10月、徳島私設リーグ始球式で、まさかのテッドボール。もうくも崩れた。

しかし「粘りの仁木」は、地元ソフトボール大会の始球式で「三度の正直」を果たした。渾身の1球は、県南の山々のように高々と与りたがったが、左右にブレず、ミットに収まった。

そして初打席、鬱憤を晴らすようにバットが火を噴く。三塁打。「借りは必ず返す」ガッツポーズが語っていた。初当選から1年。政治で、そしてスポーツでも、着実に結果を出した仁木。「三塁打」で慢心はしない。次の打席はホームランを狙う。

この記事はスポーツ新聞風にお送りしました